

特別養護老人ホーム いこいの杜

1 基本方針

- 入居者が、楽しく生き生きと安心して過ごすことが出来る環境作りに努める。
- よりよいサービスを提供するために、専門職としての倫理と誇りを持ち、技能の研鑽に努める。
- 入居者、家族、地域住民との連携を強め、地域に開かれた信頼される施設づくりに努める。

2 今年度重点事業目標

(1) 多職種協働によるチームケアの充実

- ア 認知症ケア……認知症高齢者の人の「心のありかを見つけ寄り添う」をテーマに、生活のしづらさを評価的理解、分析的理解、リフレーミングする専門的な視点を向上させる為、ユマニチュード（コミュニケーション手法）を基本に、認知症介護基礎研修、認知症介護実践者研修、認知症介護実践リーダー研修などの実践事例を活用した学びや、個々に焦点を当てたキャプション評価などから、一人ひとりが安心して生活できる環境作りを図っていく。
- イ 口腔嚥下機能……食を介した「絆・癒やし」を感じる瞬間の継続を図るため、口腔体操・口腔ケアマッサージなどオーラルフレイル対策に重点を置き、食生活支援における嚥下機能維持向上に取り組む。
- ウ 事故防止……一人ひとりの日常生活スタイル、クオリティーインプルーブメントに着目し、あらゆるリスク場面を想定した予知分析力を強化し、安心安全で良質な生活環境に繋げていく。
- エ 身体的拘束適正化・虐待防止……入居者の人権・権利擁護・身体的拘束の適正化・虐待防止の意識向上に重点を置き、各種研修の実施や不適切ケア、虐待の芽など定期的な自己点検、職員が問題をひとりで抱え込まない為のチーム作りや施設全体での協力体制など、環境を整え良質なサービスの提供に努める。
- オ 医療的ケア……多職種連携のもと、入居者の重度化に対応した安心・安全な医療的ケアを提供する。
- カ エンド・オブ・ライフ・ケア……「家族への精神的ケア」に焦点を当て、「老いる・いのち」の時間軸を家族とともに共有し、その人らしいQOD、死生観など人生のエンドポイントとしての尊厳あるケアに取り組む。
- キ 自立支援……自立度、機能維持を考慮した生活リハビリ、褥瘡予防・拘縮の悪化防止など根拠に基づいたケアをもとに福祉用具の安全かつ適切な使用の促進を図り、その人らしい活動支援に努める。

(2) 経営改善・基盤の確立

- ア 入所稼働率96%を確保する。
- イ 非常災害時においても平常支援体制の継続が図れるよう、各種訓練の実施及び備品の整備に努める。
- ウ 最新の新型コロナウイルス感染対策情報をもとに感染予防対策を行う。

(3) 職員の資質向上と人材育成

- ア 職員の専門性、資質向上を図るため、社会福祉士1名、介護福祉士2名、介護支援専門員1名、ユニットリーダー2名の資格取得を目指す。
- イ 幅広い研修受講形態を導入し、個々の研修計画・習熟度に沿った専門研修など人材の育成を図る。

(4) 地域との連携・交流の促進

- ボランティア、地域住民、近隣地域独居高齢者、各種学校等との交流を促進し地域福祉の推進を図る。

(5) 労働環境の整備

- ア ITなど多種多様な福祉用具の効果的活用、導入の研究を図り、環境的要因、健康的要因を整備し腰痛予防対策や精神的、身体的負担の軽減に取り組む。
- イ 労働時間の管理、業務の効率化、業務負担の軽減、時間外勤務の軽減に努める。
- ウ 精神的疲労やストレス、ハラスメントなど相談しやすい職場の風土を作り、早期サポートや集団ストレスチェック結果をもとに課題点の分析などを行い、働きやすい環境作りに努める。